

地域企業（自治体）お題解決プログラム

第8回 地域課題の抽出



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

畑中 寛

1. 授業計画

期日	回	内 容	期日	回	内 容
10月5日 (火)	1	オリエンテーション、シラバスの解説	11月9日 (火)	8	地域課題の抽出①
10月12日 (火)	2	宜野湾市の総合計画・総合戦略（企画政策課）	11月16日 (火)	9	地域課題の抽出②
10月19日 (火)	3	宜野湾市の産業振興（産業政策課）	11月30日 (火)	10	課題解決に向けた方向性の検討①
10月26日 (火)	4	地域におけるFMぎのわんの取り組み	12月7日 (火)	11	課題解決に向けた方向性の検討②
10月31日 (日)	5	フィールドワーク①	12月14日 (火)	12	プレゼンテーション資料の作成①
10月31日 (日)	6	フィールドワーク②	12月21日 (火)	13	中間報告
11月2日 (火)	7	収集した情報の整理	1月11日 (火)	14	プレゼンテーション資料の作成②
			1月25日 (火)	15	最終発表会の開催・講評

3. 研究題目へのアプローチ法

- **【地域型】 ...研究対象としたい地域がある場合**
 - 「対象地域」を決定する。
 - 「地域資源」と「地域課題」の検討・作成を経て、「研究テーマ・分野」を決め、以降を作成する。

- **【テーマ型】 ...研究したいテーマ・分野がある場合**
 - 「テーマ・分野」（何について）を決定し、以降を作成する。
 - 決定したテーマについて優れた・特徴ある地域を選び「対象地域」に決め、以降を作成する。

2. 科目のテーマ

□ 学生がデザインするまちづくり

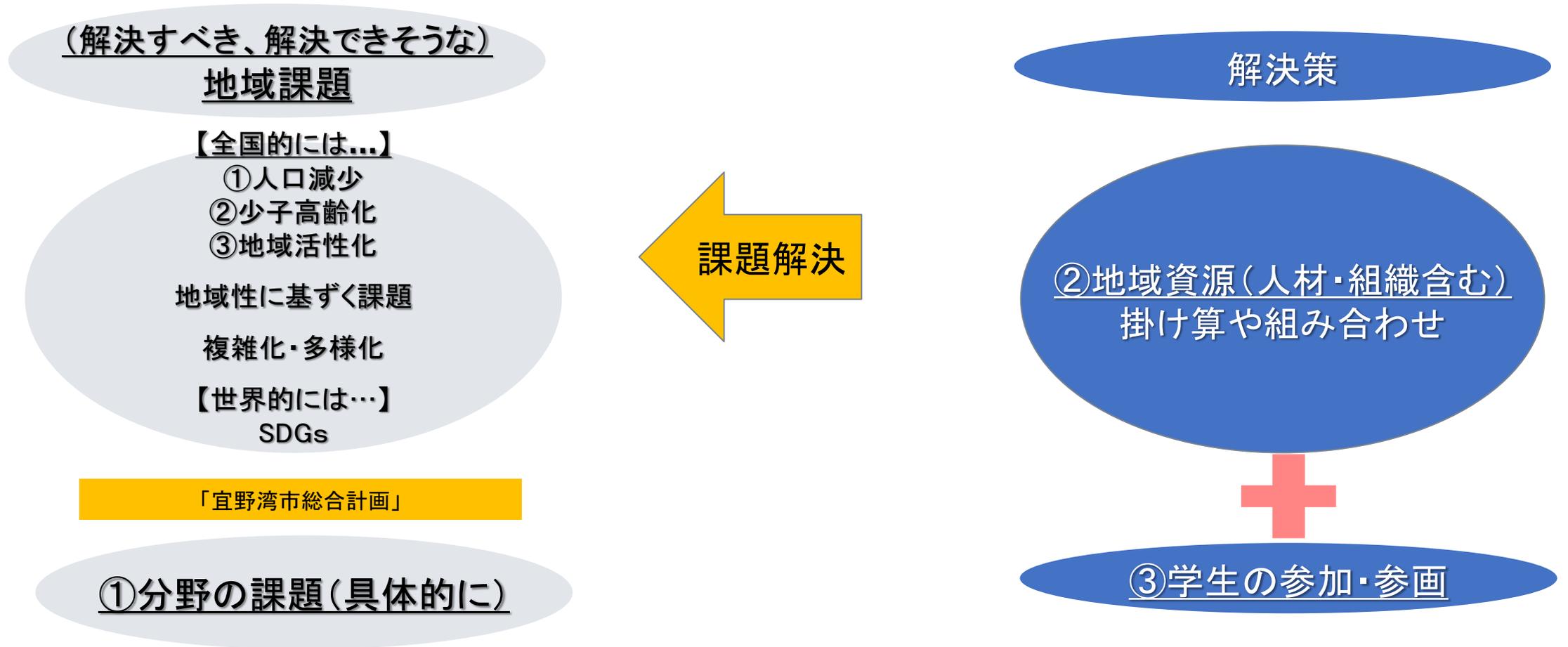
次代を担う若い学生が、宜野湾市の未来を考え、まちづくりを実践する。実際に学生が街をデザインする「ぎのわん未来研究所」を立ち上げる。

出典：「学生がデザインするまちづくり」（令和元年3月）

□ 「まちづくり」…まちが抱える課題に対して、課題解決を図るプロセス（ハード・ソフト両面）

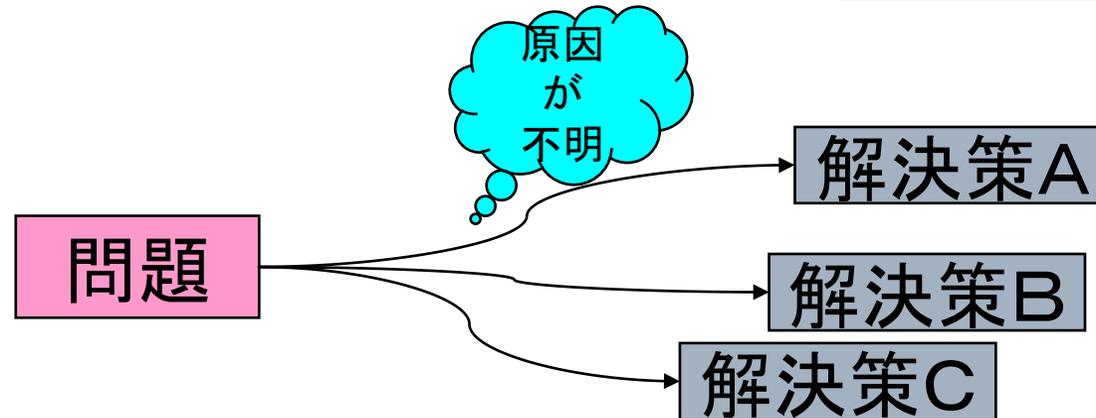
- 「街づくり」…市街地など町会を超えた地区や地域を対象
- 「町づくり」…自治会を対象
- 「地域づくり」…田園地域や広域圏的意味合い
- 「まちおこし」…地域振興、地域活性化の意味合い。住民、地元団体など地域に住む人々の主体性を強調。

4. 本科目の地域課題解決の考え方



5. 課題解決の進め方

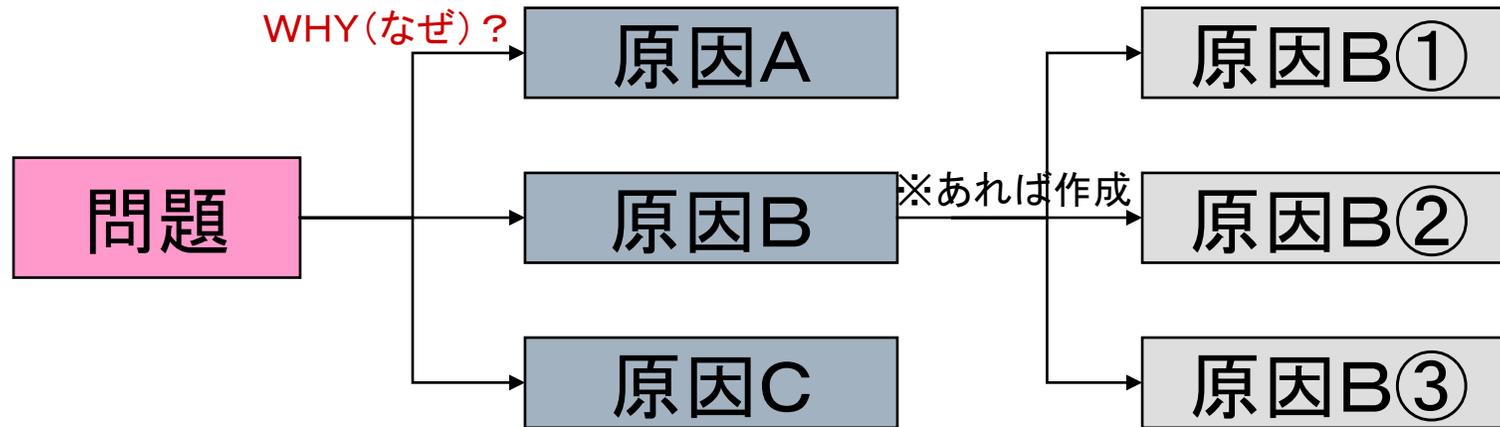
- 早く問題を解決したいと、解決策に飛び付きがち。
- 問題を解決することだけに囚われ、いきなり解決策を考えてはいけない。



- ① まず、地域課題を個人で検討し、グループで共有・分類・優先順位付けする。←Google Jambord
- ② 最も重要な課題について、深掘りし相関図を作成する
←Google Jambord

6. 原因の分析

- 問題を解決するには、問題の基となる原因を分析することが重要。
- 問題は何故起こるか、多角的に原因を分析し、可能なものはさらにその原因（本質的原因）へ深堀する。
- 原因をJambordで相関図にし、重要度で優先順位を付ける。→重要原因の絞込み



7. アイスブレイクとは

文字通り、固い氷を壊す（溶かす）ように、会議やセミナーや体験学習でのグループワークなどの前に、初対面の参加者同士の抵抗感をなくすために行うコミュニケーション促進作業の総称。アイスブレイキング (Ice-breaking) ともいう。

【例】

- 自己紹介（ペア・グループワーク）
- 他己紹介（ペア・グループワーク）
- バースディリング（全員で車座）
- 全員と話す（全員） など

[F A J : 特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 - ツール](#)

8. アイスブレイクの解説

- 人と人のわだかまりを解いたり、話し合うきっかけをつくるためのちょっとしたゲームやクイズ、運動などのことです。
- 初対面の場面だけではなく、ちょうどスポーツにおける柔軟体操のように、心をやわらかくして、会議などの席で人の話をよく聴く手助けもしてくれます。
- ばかばかしいものやちょっと恥ずかしいもの、人を知るきっかけになるもの、それとなく何かを悟らせてくれるものなど、いろいろなアイスブレイクがあります。

(F A J 日本ファシリテーション協会)

9. グループワークのNG例

- 腕組み、足組み、不機嫌
- 発言なし（何のために来た？）
- 先生、評論家（アドバイザー）タイプ
- 後ろ向き思考、否定派
- 話（前置）が長い（止まらない）。
- 話が脱線する。
- 他人の話を受けない。
- ワークの目的を理解していない。

10. グループワークで注意すべき行動

- 肩書きを忘れて、互いに対等な立場で議論しよう。
- まずは、人の話にじっくりと耳を傾けてみよう。
- いいカッコをせずに、素直に弱みを見せてみよう。
- 思い込みを捨てて、新しい考えを探求しよう。
- 対立を恐れずに勇気を持って自分の意見を出そう。
- みんな一緒に、気楽に、楽しく、真面目にやろう。

- 開示された個人的なことは他言しないようにしましょう。
- 結論、他人、自分に対する決め付けはやめましょう。
- コンパクトに発言をして、語りすぎないようにしましょう。
- 頭ごなしに非難や攻撃をせず、建設的な意見を出そう。
- 自分ができる範囲で参加し、無理強いはやめよう。